



▶ビールや発泡酒のアルミ缶を右のように組み合わせてできています。

消防飯館分署にアルミ缶で作った 防火立看板完成

消防飯館分署で製作した干支にちなんだ防火立看板がこのほど完成しました。

村では、昨年10月に村内全ての行政区に自主防災組織が結成され、防災への意識が高まってきているところですが、2003年は各防災会のさらなる育成強化を図り、災害の無い、明るい年になるようにとの願いがこの看板には込められているとのことです。

看板は、縦が2・1メートル、



火の用心お年玉クイズ ABC消火器4型を5名様にプレゼント！

問題「この看板に取り付けられた型（ピース）の数は何個でしょうか」

ヒント／今年の酉年に村内の行政区の数を加えた数です。
応募方法／ハガキ又は分署備え付けの解答用紙に①問題の答え②郵便番号、住所、氏名③消防へのご意見、ご要望等をお書きのうえ応募してください。

宛 先／〒960-1801 飯館村草野字大師堂14
飯館分署「火の用心お年玉クイズ係」

締め切り／2003年1月20日（月）当日消印有効

発 表／正解者の中から抽選し、当選者にはハガキでお知らせいたします。

★ふるってご応募ください。本年も火の用心をお願いします。

横が1・5メートルの大きさを、「防火の輪 地域で広げて 大きな和」をスローガンに干支の「未」の字を中央に配し、その周囲を20行政区を表した輪で囲んだデザイン、文字などは全てアルミの空き缶をいろいろな型（ピース）に切ったもので出来ており、製作には1ヵ月を要したそうです。

この看板は広域消防内で行われるコンクールに出品された後、分署前に1年間掲示されます。

こころのぽけっと

「社会へ心を」

早いものでまた「年越しソバ」を食べる日が近づいて来ました。

「いいいたてホーム」の入所者の方は、先日一足先にソバをご馳走になりました。これは、いつもでも元気でいたいというボランティア心を持った方々の集り「いいいたて元気会」の皆さんがソバを打ってくれたからです。

私もソバ食べに(?)行ってみたら、飯館中チョボレンジャー40数人が、入所者の年賀状書きのお手伝いや、窓拭きをさわやかな笑顔でやってくれていたのびっくりしました。この日は日曜日でしたので、家の方の送り迎えも大変だったことでしょうが、子供のボランティアに協力してもらったんだなと思ひ、嬉しくなりました。

この時、一人の中学生が、入所している自分の祖父に付き添ってソバを食べさせており、その姿

に感動しました。私たちは、つい身内のことを隠したり、恥ずかしがったりがちですから。特に若い方に。

いいいたてホームには、このようなボランティアで年間約1000人に足を運んでもらっています。話は変わりますが、村の公民館前に大きなクリスマスリースが飾られました。「いいいたてティーンエイジャーズ」という飯館分校生9人が作ってくれたものです。彼らはここ1年間、村のあらゆる行事に参加し、中心になってボランティア活動をしてくれた青年です。

若者も年輩の方も、確実に社会に目を向けてもらっています。だからとていい1年でした。

私たち中年も大いに社会に参画し、来年はさらに良い1年にしたいものです。

平成14年12月18日
飯館村長 菅野 典雄